

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月21日（水） 19時30分～21時10分
開催場所	井原 地区 「 井原公民館 」
出席議員	西田久志 佐藤 豊 坊野公治 荒木謙二 柳原英子
参加者数	23 名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 井原 地区

テーマ『 公共交通・有害鳥獣対策・高齢ドライバー・河川の浚渫、伐木について

』 開催日： 令和元年8月21日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
井原	1	西日本豪雨で堰堤下30cm下まで水位が上がった。不安である。			○				河川の浚渫
井原	2	旧大西菌科周辺が例年浸かっている。			○				〃
井原	3	倉掛地区が下流地域で低い土地である。			○				〃
井原	4	西日本豪雨でポンプをフル稼働しても浸かった。			○				〃
井原	5	ポンプ稼働のタイミングが大切である。ゴミをとらないと作動不可能になる。			○				〃
井原	6	突発的な際、対応が取れていない。	○		○				危機管理
井原	7	河床は変わってなく、水位は毎年上がっている。			○				河川の浚渫
井原	8	大正橋から日芳橋辺りが河川を中心であり砂利等で山になっている。			○				〃
井原	9	昔は、砂利を取っていた。			○				〃
井原	10	オーバーフローする。浚渫を一番にやってほしい。			○				〃
井原	11	地域(河川等)をよく確認をしてほしい。			○				〃
井原	12	浚渫工事の位置付けはどうなっているのか。			○				〃
井原	13	要望していることに説明がない。また、情報もほしい。年次計画等あれば理解できる。			○				危機管理
井原	14	浚渫の順番があるのか、説明がほしい。早く取って欲しい。工事の予算の問題なのか、不安である。			○				河川の浚渫
井原	15	河川が有害鳥獣の住処となっている。			○				有害鳥獣
井原	16	モグラが土手に穴をあける。これも怖い。			○				その他
井原	17	放し飼いの猫も多い。		○					〃
井原	18	ダイヤがわかりにくい。ネットで調べれば解るが高齢者はしない。	○						公共交通

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
井原	19	市民に広報して利用者の拡大を図らなければ、赤字の減少とはならない。	○						〃
井原	20	広報等にもチラシは入っているがPRが足りていない。	○						〃
井原	21	利用者ニーズに合っていない。	○						〃
井原	22	利用者の意見の集約を図らなければならない。	○						〃
井原	23	利便性をよくする必要がある。	○						〃
井原	24	バスから乗り合いタクシー・福祉タクシーへと転換すると利便性が上がる。	○						〃
井原	25	ルール作りが必要であるが、タクシー等小型化にすれば高齢者は助かる。	○						〃
井原	26	井原町には9地区あるが、各自治公民館に市費でケーブルをつけてほしい。ランニングコストも避難施設であるので市費で対応してほしい。	○						防災
井原	27	避難施設でネット利用できれば自治会内で情報を共有することができる。	○						〃
井原	28	イノシシ、猿、鹿、ハクビシン、タヌキ等生息している。			○				有害鳥獣対策
井原	29	法律等で一般市民は捕獲できない。			○				〃
井原	30	追い払いより、捕獲が必要である。			○				〃
井原	31	熊が出没したとの情報もある。			○				〃
井原	32	利用者の声を救い上げてほしい。	○						公共交通
井原	33	小型バスの導入すれば小さな道路にも運行できる。	○						〃
井原	34	あいあいバスは残すべきである。	○						〃
井原	35	小田川の河川の浚渫工事の時期を知りたい。情報がほしい。			○				河川の浚渫
井原	36	浚渫工事を早くしてほしい。			○				〃
井原	37	県工事とか市工事とかは市民はわからない。県に働きかけて早期の浚渫を。			○				〃
井原	38	小田川(新町から七日市)の安全は確保されているのか。			○				〃
井原	39	鳥獣を駆除する人が少なくなっている。捕獲が必要である。			○				有害鳥獣対策

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月25日（日） 19時00分～20時40分
開催場所	出部 地区 「 出部公民館 」
出席議員	山下 憲雄、柳井 一徳、藤原 浩司、三輪 順治
参加者数	25名（男性15人、女性10名）
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **出部** 地区

テーマ『 ①豪雨災害後1年を経過した現状について
②高齢者福祉について、その他 』

開催日： 令和元年8月25日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
出部	1	防災訓練がどれだけ役立ったのか、実際に応じた訓練をするべき	○	○					防災
出部	2	河川の浚渫、氾濫について考える			○				防災
出部	3	避難場所の問題、勧告は徹底した指示を出してほしい、避難のタイミングが分からない	○						防災
出部	4	持ち出し品の準備をしておく、隣近所で日ごろから声掛けや避難準備をしておく	○	○					防災
出部	5	高齢者への声掛け、家の中で垂直避難できるように指導する	○	○					防災
出部	6	非常食は行政がまとめて備蓄しておく、お知らせくんで早めの情報を得る	○	○					防災
出部	7	逃げ場の確保、県道の通行止めの指示を早く	○		○				防災
出部	8	高齢者や障がい者の避難準備、ペットの避難について考えておく	○						防災
出部	9	地域ごとに応じた指示を出してほしい	○						防災
出部	10	ネット等の環境整備、災害復旧に予算の関係もあるがもっと強制的にできないのか	○						防災
出部	11	自助もわかるが、公助サービスも疎かにならないようにしてほしい	○						防災
出部	12	大災害はめったにないので防災意識が薄いので意識改革をするべき	○						防災
出部	13	リーダーの養成、育成、連絡ルート、連絡網の確立	○	○					防災
出部	14	2階建ての家は2階に避難備品の準備をする	○						防災
出部	15	どこが危険なのか分かっているのに手をかけていない	○		○				防災
出部	16	ライブ放送のカメラがほしい(どの川が危ないか分かっているのでその情報)	○		○				防災

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
出部	17	井原放送のカメラは夜間の水位情報が真っ暗でわからない	○		○				防災
出部	18	川の水位計を時間ごとに示してほしい	○		○				防災
出部	19	高屋川の浚渫が1/3しかできていないが残りは確実にできるのか			○				防災
出部	20	高屋川の堤防のかさ上げを県に依頼しているが、回答がない			○				防災
出部	21	出部小学校が指定避難所になっているが遠すぎる	○						防災
出部	22	一時避難所に毛布、水の準備をしてほしい、避難マニュアルの作成	○						防災
出部	23	自治会非加入者や高齢者への対応	○	○					防災
出部	24	危険場所は前々からわかっているのに避難できた人、できなかった人が出た	○						防災
出部	25	避難所の開扉が遅い、勧告情報が遅く避難が遅れた、出部小学校は遠い	○						防災
出部	26	小学校だけでこれ以上の避難者への対応可能なのか	○						防災
出部	27	お知らせくんのスイッチを切っている家庭もある	○						防災
出部	28	議員に苦言だが災害実態を素早く検証して行動してほしい	○	○	○		○		防災
出部	29	市全体の避難訓練をしなくてはならない、横のつながり(各自治体、地区、近所)大事で声掛けや助け合うことが必要	○						防災
出部	30	床下や床上浸水した家庭では買い物や食事に困っているのが公民館などの備蓄品を分け与えることはできないのか	○						防災
出部	31	敬老会の年齢を上げてほしい		○					高齢者福祉
出部	32	買い物支援、特に車のない人や免許返納した高齢者	○	○					高齢者福祉
出部	33	要介護や要支援の高齢者と家族を交えて話し合う		○					高齢者福祉
出部	34	年金はどこでどのようにすればいいのか、年金で利用できる施設がほしい		○					高齢者福祉
出部	35	買い物支援や病院への送り迎えで車に同乗してもらいが事故が心配でいつもできない		○					高齢者福祉
出部	36	閉じこもり高齢者に声掛けする、家族や地域の人達が声掛けをする		○					高齢者福祉

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
出部	37	防犯も含め見守りのために見回りをする		○					高齢者福祉
出部	38	ごみ屋敷の問題は市役所に相談するのか対応が分からない		○					高齢者福祉
出部	39	少子高齢の長期ビジョンが見えない、福祉施設の充実、産科医の確保		○					高齢者福祉
出部	40	敬老会そのものの見直しが必要、高齢者に配布しているチケットの見直し		○					高齢者福祉
出部	41	民生委員の人選や確保について地域に丸投げはやめて(元教員など)に願う)		○					高齢者福祉
出部	42	道路の修繕			○				高齢者福祉
出部	43	出部地区には100円バスのルートが少ない	○						高齢者福祉
出部	44	市民病院でクレジット払いなどキャッシュレス対応してほしい		○					高齢者福祉
出部	45	民生委員のなり手不足、介護認定に疑問がある		○					高齢者福祉
出部	46	高齢者夏フェスタを毎年開催してほしい、女性が元気なのがいい		○					高齢者福祉
出部	47	高齢者は毎食後に歯磨きをすることが大事だ		○					高齢者福祉
出部	48	75歳以上の定期検診がないのは不可解、もっと健康診断が必要だ		○					高齢者福祉
出部	49	独居高齢者に民生委員が関わっているがもっと地域でも対応するべきだ		○					高齢者福祉
出部	50	75歳以上の敬老会行事の見直し、高齢者の居場所づくり		○					高齢者福祉
出部	51	サロンやラジオ体操などしているがもっとお金を使った行事、イベントがあればいい		○					高齢者福祉

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第1班 班長 大滝文則

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月23日（金） 19時00分～21時00分
開催場所	高屋 地区 「 高屋公民館 」
出席議員	大滝文則、妹尾文彦、細羽敏彦、惣台己吉、上野安是
参加者数	43 名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **高屋** 地区

テーマ『 **子ども・子育て支援、有害鳥獣対策、地域防災対策** 』

開催日： 令和元年8月23日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
高屋	1	高校生まで医療費無償化の予算はいくらか。		○					医療費無償化
高屋	2	医療費無償化の財源は。		○					医療費無償化
高屋	3	医療費の無償化や学校にクーラーなど、経費のかかる事業が多い。しっかりと予算の管理していかなければならないのでは。	○	○					医療費無償化・学校施設
高屋	4	放課後児童クラブの補助金についての使い道の報告管理は市役所ではどのようにしているのか。		○					放課後児童クラブ
高屋	5	放課後児童クラブの担当課を作るといった意見が出ているのは、今までの子育て支援課の担当がうまくいっていないからではないか。		○					放課後児童クラブ
高屋	6	保育園には入りにくい。幼稚園の預かり保育の時間を延長してほしい。	○						預かり保育
高屋	7	保育士は自分の身を削って仕事をしている。保育士の待遇を改善してほしい。市のほうではどのように考えているのか。		○					保育
高屋	8	猪が多い。猪が通るたびに石が落ちてきたりする。			○				有害鳥獣
高屋	9	倒木や邪魔になっている木がある。持ち主と話し合っって切ったりしているが、地域の方がすると危ない。			○				道路管理
高屋	10	耕作放棄地があるために猪が出てきているのではないか。リモコンで操作できる草刈り機があるようなので、市のほうで購入して貸出してもらえないか。			○				耕作放棄地・草刈り機
高屋	11	市で貸出している草刈り機を平日しか借りられないのを休日でも借りられるようにできないか。			○				草刈り機
高屋	12	猪の罠について、資格がいるのか。			○				有害鳥獣
高屋	13	猟友会にもっと追い回して郷の方に降りてこないように頑張してほしい。			○				有害鳥獣
高屋	14	猟友会にはどうやって連絡すればよいのか。			○				有害鳥獣
高屋	15	猟友会がサルを撃ってくれない。			○				有害鳥獣

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
高屋	16	旧御室橋のところの復旧工事の進捗が遅い。議会でまとめて県へ要望してもらえないか。			○		○		災害復旧
高屋	17	御室橋のところ、下水の水道管を設置するより、片側交互通行を先に直してほしい。これも議会で要望してもらえないか。また、どうしてそうなっているのか地元への説明が欲しい。			○		○		災害復旧
高屋	18	護岸工事が出来たが、そこだけではなく中州や竹林なども撤去してほしい。			○				防災
高屋	19	子育て支援も重要だが、人口減を減らすためには、企業誘致が重要でないかと思うが、どうなっているのか。			○				企業誘致
高屋	20	指定避難場所が高屋小学校から高屋中学校に変わったが、高屋小学校は指定避難所にふさわしくないということなのか。	○						避難所
高屋	21	避難場所が高屋中学校になると、小学校の近くの住民は、水害のひどかった地域を歩いていかなければならないが、どうすればよいのか。	○						避難経路
高屋	22	避難指定場所は小学校と中学校と公民館でないのか。	○						避難所
高屋	23	小学校に生徒がいるときに水害などで、道が通れなくなると小学校がへ親が迎えに行けない。避難経路、物資を運ぶ道を整備してほしい。	○						避難経路

様式第1号（第11条関係）

令和元年 8月 28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第2班 班長 簀戸 利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月 20日（火） 19時30分～21時00分
開催場所	大江 地区 「 大江公民館 」
出席議員	簀戸利昭、三宅文雄、西村慎次郎、宮地俊則、多賀信祥
参加者数	28名
主な意見 要望等	ワークショップで出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 大江 地区

テーマ『

人口減少問題について

』

開催日： 令和元年8月20日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
大江	1	公園管理			○				公園
大江	2	幼少中高一貫(地元に残る人材育成のため)、市立大学の設立	○						学校
大江	3	生徒数が少ないため学校区を越えての交流(部活動など)	○						学校
大江	4	特殊職業訓練校の設置(大学に進学しなくても高度な技術を習得できる)	○						学校
大江	5	幼稚園を減らして充実させる(統合について)	○						学校・幼稚園
大江	6	学校区の問題(部活動など)	○						学校
大江	7	幼稚園が時間など利用しにくい(土日と17時までなので利用しにくい)(3件)	○						学校・幼稚園
大江	8	企業、工場誘致(2件)			○				雇用
大江	9	農振地域が広すぎる			○				宅地・住宅
大江	10	民間賃貸アパートを建てる(大江地区に)			○				宅地・住宅
大江	11	新しい集合住宅の建設			○				宅地・住宅
大江	12	所有者不明土地が多い			○				空き家、空き地
大江	13	空き家対策(2件)			○				空き家・空き地
大江	14	空き家、土地を流通しやすくする			○				空き家・空き地
大江	15	婚活イベントを大江で実施する			○				結婚
大江	16	仲人が少ない、マッチングしてほしい(2件)		○					結婚
大江	17	市内で結婚紹介所を立ち上げてほしい		○					結婚
大江	18	農業後継者問題(3件)			○				農業
大江	19	農業法人(作り手と借り手のマッチング)			○				農業

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
大江	20	高齢者が元気であることが大事		○					高齢者福祉
大江	21	Uターンを増やす、移住促進(2件)			○				移住・定住
大江	22	子育て支援は充実している		○					子育て
大江	23	出産祝い金1千万		○					子育て
大江	24	大江に保育園がない		○					子育て
大江	25	消防団員確保	○						消防団
大江	26	マルシェ事業の拡大		○					地域づくり
大江	27	一夫多妻制特区を認める	○						その他
大江	28	インターネットの活用、家、仕事(テレワーク)	○		○				〃
大江	29	大江にカジノ(場外馬券)	○						〃
大江	30	市民税の無償化	○						〃
大江	31	パートナーシップ制度		○					〃

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月20日（火） 19時00分～20時35分
開催場所	稲倉 地区 「 稲倉公民館 」
出席議員	西田久志 佐藤 豊 坊野公治 荒木謙二 柳原英子
参加者数	9 名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **稲倉** 地区

テーマ『 稲木川沿いの発展について

』

開催日： 令和元年8月20日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
稲倉	1	産業団地について現状報告がない。			○				産業団地
稲倉	2	産業団地について情報が入らない。地域に説明がない。			○				〃
稲倉	3	どのような企業が来るのか、周辺環境がどうなるのか説明がない。			○				〃
稲倉	4	産業団地の将来像、ビジョンが見えない。			○				〃
稲倉	5	買い上げの土地の管理ができていない。草木が生えイノシシが出る。			○				〃
稲倉	6	他市町の企業誘致の対応を参考にしてほしい。			○				〃
稲倉	7	産業団地の周辺に都市公園をつくってほしい。			○				〃
稲倉	8	土地への執着がなくなっている中、休耕田が増えている現状をどうするのか。			○				農業
稲倉	9	休耕田の草刈り対応が負担になり、さらに休耕田が増える状況にある。			○				〃
稲倉	10	休耕田が増えると水利費負担が増え、負のスパイラルになる。			○				〃
稲倉	11	他地域には、営農組合がある。どのようなものなのか。補助金制度がわからない。			○				〃
稲倉	12	草刈は民家から50m以内は補助が出ない。高齢化が進み柔軟な対応が必要。		○	○				〃
稲倉	13	西日本豪雨で被災した場所の調査、浚渫状況等どうなのかを議会として対応をしてほしい。議員が市と対応をしてほしい。			○		○		災害復旧
稲倉	14	まだ、河川の修繕が出来ていない。また、はっきりとした回答も説明もない。			○				〃
稲倉	15	県の対応か、市の対応か何れにしても早期の対応を、修繕をしてほしい。			○				〃
稲倉	16	幼稚園児、年少組は0人で年中組3人、年長組3人で小学生67人が現状である。 10月から園児無償化になるが、今後どのように少子化対策をしていくのか掘り下げて対策をしてほしい。	○	○					少子化

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
稲倉	17	子育て世代にもっと優遇施策が必要。茨城県那珂市の施策を研究してください。		○					〃
稲倉	18	若者が魅力あるまちづくりの展開。(知り合える場づくり)			○				少子化
稲倉	19	井原市の子育て施策をもっとPRすべき。PRが足りない。	○	○	○				〃
稲倉	20	高齢者の元気な方が集える場、働ける場の提供。		○					高齢化
稲倉	21	高齢化により自治会自体も統合等今後、検討すべきである。		○					〃
稲倉	22	各地区で発展の凹凸がある。平準化を図る施策が必要。	○	○	○				その他
稲倉	23	公営住宅(匠団地)老朽化により42戸しか入居していない。環境整備が必要。有効利用すべきである。			○				〃
稲倉	24	「お知らせくん」は在宅時にしか聞けない。防災無線が必要では。	○						防災
稲倉	25	上水道が整備してなく、ポンプアップしている家屋がある。			○				その他

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月23日（金） 19時30分～21時20分
開催場所	木之子地区 「 木之子公民館 」
出席議員	山下 憲雄、柳井 一徳、藤原 浩司、三輪 順治
参加者数	48名（男性33人、女性15名）
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 木之子 地区

テーマ『 ①防災対策（被災後1年経過の現状）

』

開催日： 令和元年8月23日

②地域活性化対策、その他

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	1	家庭内や地域で若い人の指示に従う	○						防災
木之子	2	すぐ避難できるように靴やビニール袋を用意しておく	○						防災
木之子	3	備品の確認や情報の入手、危機感を持つ	○						防災
木之子	4	弱者への配慮や避難順路など行動マニュアルを作成するべきである	○	○					防災
木之子	5	木之子全体ではなく、小さい地域での対策準備が必要	○					○	防災
木之子	6	危険地区の把握、危険意識を持つ	○		○				防災
木之子	7	地区内の危険区域の把握、木之子全体だけでなく各地域の防災マップを作成する	○		○				防災
木之子	8	指定場所を工業団地などの高台にするべき企業とタイアップする	○						防災
木之子	9	土嚢袋の支給や小田川の水位ライブ中継してほしい	○		○				防災
木之子	10	あまり使われていないため池の管理、高齢者への声掛け、障害者の避難対策	○	○	○				防災
木之子	11	通行止めの場所がわからないなど情報の管理徹底	○		○				防災
木之子	12	防災意識の改革(自助意識の徹底連絡)、危機感を持つ、訓練の大切さ	○						防災
木之子	13	高齢者、ペット問題の対策、特にシミュレーションが大事	○	○					防災
木之子	14	空き家が被災した場合危険、地区内で把握しておく	○		○				防災
木之子	15	堤防の改修が必要(ニシキ橋付近)			○				防災
木之子	16	防災計画にビジョンがない、各地区に避難所がない、公民館を2階建てにしてほしい	○						防災

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	17	山際の防災対策、自主防災組織の備品支援一律50万円ではなく人口割にしてほしい	○						防災
木之子	18	用水路が氾濫すると陸地と境目がわからないのでポールを建てて危険告知してほしい			○				防災
木之子	19	土砂崩れの考えられる場所を市の防災マップに掲載してほしい	○						防災
木之子	20	雑木や河川の浚渫について議会は市に対して何かしたのか			○		○		防災
木之子	21	災害の恐怖で動けなかった、避難弱者の把握、対応	○	○					防災
木之子	22	民地の土砂災害は民個人で対応しろと市から言われた、金額的にも大変なので行政で対応してほしい	○		○				防災
木之子	23	高台への避難所設置、連絡網の作成が大事、訓練の必要性	○		○				防災
木之子	24	ため池の排水対策、堤防の安全確保			○				防災
木之子	25	公民館の利用者が年間 2万人なので2階建てにしてほしい	○						活性化、協働のまちづくり
木之子	26	カフェ、サロンが木之子地区に6か所あるが、各地区集会所を整備してほしい		○					活性化、協働のまちづくり
木之子	27	各地区集会所の空調設備の整備		○					活性化、協働のまちづくり
木之子	28	高齢者が元気になることで家庭も守れ活性化するのではないか		○					活性化、協働のまちづくり
木之子	29	高齢者に対する施策を考えてほしい		○					活性化、協働のまちづくり
木之子	30	若者の移住で子供を増やす、子どもが主体の場、イベントや活動機会を増やす		○					活性化、協働のまちづくり
木之子	31	住民の雇用の場が欲しい、木之子は井笠地域の中心地、中央部なので公共施設を作ってほしい(焼却場等)		○	○				活性化、協働のまちづくり
木之子	32	県主神社と馬越恭平をコラボイベントを行う、道の駅をつくり地産品を販売する			○				活性化、協働のまちづくり
木之子	33	人が集まるようなイベントの計画し実行する			○				活性化、協働のまちづくり
木之子	34	若者が働ける職場を作る、井原線の活用(ひまわり号など運航する)			○				活性化、協働のまちづくり
木之子	35	保健センターを木之子に移転する、田中公園を子供広場や遊び場にする		○	○				活性化、協働のまちづくり

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
木之子	36	市民会館を人の駅にする、円地からトンネルをつくり道の整備をし交通手段を良くする			○				活性化、協働のまちづくり
木之子	37	井原線などを活用した活性化の方法論がない	○		○				活性化、協働のまちづくり

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第1班 班長 大滝文則

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月21日（水） 19時30分～21時30分
開催場所	県主 地区 「 県主公民館 」
出席議員	大滝文則、妹尾文彦、細羽敏彦、惣台己吉、上野安是
参加者数	23 名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **県主** 地区

テーマ『 **防災と地域の力**

』

開催日： 令和元年8月21日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
県主	1	避難場所(学校)が安全か心配。途中が行きにくい。	○						避難経路・避難所
県主	2	体育館が避難場所になっているが昨年水で浸かっている。避難場所として適切か。	○						避難所
県主	3	避難したいけれど、どの道が通れるのか状況がわからず動けなかった。	○						避難経路
県主	4	災害時の避難行動、支援についての制度のことが周知されていない。	○						住民意識
県主	5	岡山県とか井原の人は災害が少ないと思込んでいる。そのことが問題である。	○						住民意識
県主	6	門田川の県管理部分で小学校北の橋、下流の未工事によるせまい部分を改修してほしい。			○				河川改修
県主	7	稲木川の河川内の土砂の浚渫要望			○				河川改修
県主	8	孤立したときのために各地区に避難物資を備えておいてほしい。	○						避難所
県主	9	子どもたちにキャンプのように体育館で寝泊まりして、避難所体験をしてみせる。	○						防災対策
県主	10	防災メールの情報が遅い。	○						災害情報
県主	11	災害の情報が入ってこない。自治会として何をするかわからない。	○						災害情報
県主	12	災害が発生したときの情報伝達をお知らせくんを利用して行ってほしい。	○						災害情報
県主	13	地区で誰に連絡すればいいか決まっていない。わからない。	○						防災対策
県主	14	災害時のパトロール体制を市に要望	○						防災対策
県主	15	災害の種類で避難場所の変更が必要では。	○						防災対策
県主	16	となり近所、各単位自治会で、危険個所について話し合う。	○						防災対策
県主	17	危険個所を各家庭で把握する。(現在あまり考えていない)	○						防災対策

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
県主	18	河川(稲木川、淀川、門田川)の改修が必要と思う。			○				河川改修
県主	19	門田川の排水改善が急務			○				河川改修
県主	20	水路(山の中は池等)の整理が出来ていないので、水路外へ流出する場所が多い。山中の水路整備。			○				河川改修
県主	21	山林が荒廃しているので土砂崩れが多発している。			○				山崩れ
県主	22	竹がはびこると災害が起きやすい。竹をチップにする。井原公社を作る。産業として取り組む。			○				防災対策
県主	23	減災を考える。	○						防災対策
県主	24	地震に対しての備えも必要。	○						防災対策
県主	25	地区ごとの避難所を設置し、運営の仕方を考える。	○						避難所
県主	26	縦のつながりをしっかりとれる地域にするにはどうしたらいいか。現存のコミュニティを活用していく。元気な人が多いのは良い事。	○	○					防災対策
県主	27	動員したらすごいんだから、その後継者づくりを。腰掛自治会長ではだめ。地区のリーダーが引っ張る。子育て組がどれくらい頑張れるか。	○						防災対策
県主	28	住民の意識を変えていく。	○						住民意識
県主	29	自主防災組織の設立。	○						防災体側・住民意識
県主	30	地面池の堤防の補強をしてほしい。			○				池
県主	31	猪やハクビシンが出だして野菜がやられて困っている。			○				有害鳥獣
県主	32	荒れた田んぼが3枚ある。後継者をどうするか。			○				耕作放棄地
県主	33	防災組織の確立を 1会則 2計画 3避難所運営マニュアル。	○						防災組織
県主	34	自治会を主体とした防災組織の継続した取り組みのあり方	○						防災組織
県主	35	防災士を中心とした防災計画等を作成・実施	○						防災組織
県主	36	情報管理はどうするか。	○						防災組織

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
県主	37	小さい単位での防災組織づくりをどのように進めていくか。	○						防災組織
県主	38	要支援者誰がいるか。助けに行くのに誰が指示をするのか。	○						防災対策
県主	39	避難支援に失敗したときの責任は。	○						防災対策
県主	40	避難場所がわからない。	○						避難所
県主	41	避難は地元公民館に→次に県主の避難場所へ	○						防災対策
県主	42	高齢者が多いので、自治会長の役割が大変。家族の人数、要支援者。	○						要支援者
県主	43	災害が起きたときの想定と役割分担	○						防災対策
県主	44	災害時の流れ。	○						防災対策
県主	45	初期対応がわからない。	○						防災対策
県主	46	災害時に対応できる人が少ない。	○						防災対策
県主	47	支援者の方が少ない。	○						防災対策
県主	48	防災の方向が片寄っている。	○						災害情報
県主	49	登録されている支援者の情報共有化。	○						災害情報
県主	50	地面池の安全性が確保できているか。			○				池

様式第1号（第11条関係）

令和元年 8月 28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第2班 班長 簀戸 利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月 23日（金） 19時00分～21時00分
開催場所	荏原 地区 「 ふれあいセンター 」
出席議員	簀戸利昭、三宅文雄、西村慎次郎、宮地俊則、多賀信祥
参加者数	7名
主な意見 要望等	ワークショップで出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 荇原 地区

テーマ『

災害後1年を経過した現状等について

』

開催日： 令和元年8月23日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荇原	1	学校ICT環境の整備に取り組むのもよいことだが、今まで同様に不登校の子どもたちへのフォローも大事にしてほしい(総務文教の政策提言に対して)	○						学校、青少年健全育成
荇原	2	不登校の児童・生徒の推移に注意してほしい(総務文教の政策提言に対して)	○						学校、青少年健全育成
荇原	3	学校ICTIにおいて、井原市が近隣他市と比べてどうなのか。遅れてはいないのか(総務文教の政策提言に対して)	○						学校
荇原	4	農業に限らず、大きな視点で見た産業振興に取り組むべき。高等学校との連携、矢掛高校を見習うことも必要(建設水道の政策提言に対して)			○				産業
荇原	5	小児救急医療の現状はどうなっているのか。課題ではないのか。(議会報告に対して)		○					医療
荇原	6	台風10号の際に、市から公民館を避難所として使用すると言われたが、対応に困る。避難所開設や運営に不安がある。しっかりとルール作りをしてほしい。避難所での都度都度の対応をだれが決定していくのか。	○						災害
荇原	7	避難所について民間との協定はどのようになっているのか(周知不足)	○						災害
荇原	8	福祉避難所の受け入れの対応について、具体的に住民に周知できていないのではないのか。そのような事情もありながら、みずきさんは配慮をいただいている。	○						災害
荇原	9	2世帯の家庭で、お知らせくんが一台であったために情報伝達が遅れたと聞いているが、対応できないか	○						災害
荇原	10	地区で大きな組織はあるが、より小さな単位で取り組むことが大事	○						災害
荇原	11	地域によっては指定避難所ではいくことができないので小さな単位で自主防災組織に取り組みことが重要	○						災害
荇原	12	要支援者の登録が増えるための取り組みと定期的な見直しができいていないのではないか	○	○					災害
荇原	13	災害時等避難行動要支援者名簿の運用の仕方にも課題があるのではないか	○	○					災害

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
荏原	14	下谷川の浚渫のペースが遅いので不安。回答が遅い。			○				河川
荏原	15	砂防ダムが一杯になっていて不安。対応してほしい			○				治山
荏原	16	市役所職員に対して地域行事に積極的に参加してもらいたい。地元の人と交流することで、地元のことをよく知ることが有事の際に役立つ(市長に対して)					○		その他
荏原	17	ちょっとしたことでも個人情報をも理由に地域づくりが進まない気がしている					○		その他

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月2日（金） 19時00分～20時35分
開催場所	野上 地区 「 野上公民館 」
出席議員	西田久志 佐藤 豊 荒木謙二 大滝文則
参加者数	15名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： 野上 地区

テーマ『 地域医療について、有害鳥獣対策について

』

開催日： 令和元年8月2日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
野上	1	子供の夜間での病気が心配である。(市外の病院に行かなければならない)		○					地域医療について
野上	2	95歳以上の高齢者に8~9種類の薬が出ている。		○					地域医療について
野上	3	病院の機械が動かない時間の利用料が高い。		○					地域医療について
野上	4	100円バスでは、通院がしにくい。(乗り合いタクシーの増便)	○						公共交通
野上	5	100円バスを病院の近くで止めてほしい。90歳以上の人はなかなか乗れない	○						公共交通
野上	6	福祉タクシーが使いにくい。(条件が厳しい)		○					公共交通
野上	7	デマンドバスの範囲を広げてほしい。	○						公共交通
野上	8	デマンドバスの充実を図ってほしい。	○						公共交通
野上	9	総合的な医療体制の整備が必要。		○					地域医療について
野上	10	病院への送迎が大変である。どうにかならないか。		○					公共交通
野上	11	医療ホットラインをつくってほしい。		○					地域医療について
野上	12	市内又は県内病院間でのデータの統一を図ってほしい。		○					地域医療について
野上	13	専門医が少ない。		○					地域医療について
野上	14	受診したい専門科のある病院が少ない。		○					地域医療について
野上	15	70歳以上の世帯を巡回してほしい。(看護師資格のある人で)		○					地域医療について
野上	16	市民病院の診療時間の延長をしてほしい。		○					地域医療について
野上	17	かかりつけ病院への直通電話をつけてほしい。		○					地域医療について
野上	18	井原市内に精神科の医者がいない。		○					地域医療について
野上	19	今後、通院の足が心配である。	○	○					公共交通

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
野上	20	出張診断を希望する。		○					地域医療について
野上	21	出張してくれる医院がない。		○					地域医療について
野上	22	美星診療所は出張してくれるが、市民病院はしてもらえない。		○					地域医療について
野上	23	予防接種の出張接種を希望する。(風疹・麻疹を含む)		○					地域医療について
野上	24	健康診断の回数を増やしてほしい。受けやすくしてほしい。		○					地域医療について
野上	25	婦人科の設置を希望。		○					地域医療について
野上	26	市民病院での待ち時間が長い。		○					地域医療について
野上	27	薬の量が多い。(副作用が心配)		○					地域医療について
野上	28	通院がむずかしい。(片道タクシーを利用している)	○	○					公共交通
野上	29	イノシシが野菜を食べて困っている。			○				有害鳥獣対策について
野上	30	今はイノシシより猿の被害が多い。			○				有害鳥獣対策について
野上	31	猿の被害が多い。烏の被害が多い。			○				有害鳥獣対策について
野上	32	イノシシ、猿の駆除が必要。			○				有害鳥獣対策について
野上	33	銃の規制が厳しい。			○				有害鳥獣対策について
野上	34	避妊薬入りの餌を利用できるようにする。			○				有害鳥獣対策について
野上	35	駆除班の人を増やすようにする。			○				有害鳥獣対策について
野上	36	避妊薬入りの餌を利用できるようにする。(子を増やさないように)			○				有害鳥獣対策について
野上	37	猿を捕獲してほしい。(銃使用)			○				有害鳥獣対策について
野上	38	猟期に関係なく捕獲して(殺して)ほしい。			○				有害鳥獣対策について
野上	39	徹底的に駆除してほしい。			○				有害鳥獣対策について
野上	40	各自治会に捕獲柵を設置してほしい。(管理は行う)			○				有害鳥獣対策について

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
野上	41	避妊団子(餌)の配布			○				有害鳥獣対策について
野上	42	狩猟の際、即対応できる体制づくりの構築			○				有害鳥獣対策について
野上	43	猟友会駆除班への要請の簡略化			○				有害鳥獣対策について
野上	44	捕獲補助金の増額・駆除班の増員			○				有害鳥獣対策について
野上	45	猟期の期間の延長・捕獲の自由化・特区の設置・法改正。			○				有害鳥獣対策について
野上	46	市のバックアップで鳥獣の解体場の設置、ジビエ料理の販売。			○				有害鳥獣対策について

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月20日（火） 19時00分～20時30分
開催場所	青野 地区 「 JA 岡山西井原北支店青野店舗2階 」
出席議員	山下 憲雄、柳井 一徳、藤原 浩司、三輪 順治
参加者数	20名（男性16人、女性4名）
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **青野** 地区

テーマ『 ①地区内道路の整備
②井原市女性会への負担軽減について
③残土処理場（仁井山）の交通問題について 』

開催日： 令和元年8月20日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
青野	1	神戸の片側通行について			○				交通
青野	2	県道、広域農道の草刈り問題について			○				道路維持管理
青野	3	井原～青野間の道が狭いので時間がかかる			○				交通
青野	4	残土処理場の仁井山付近は道が狭く交通事故が心配である			○				交通
青野	5	その他でブドウ新規就農者の住宅、耕地が整備できているのか、ブドウ団地を検討して欲しい			○				農林業
青野	6	女性会のない地域の問題点を聴いているのか		○					活性化、協働のまちづくり
青野	7	地元議員だけでなく、ほかの議員も青野の活性化を訴えてほしい	○	○	○				活性化、協働のまちづくり
青野	8	残土処理場になぜ仁井山を選んだのか			○				公共施設
青野	9	仁井山は道幅が狭く、大型ダンプの出入りで交通事故が心配			○				交通
青野	10	広域農道の管理は県なのか？市なのか？また、草刈りはどこがするのか？			○				道路維持管理
青野	11	街灯が少なく中・高校生が明るさも暗く危険である、			○				交通
青野	12	残土処理場の問題と道路拡張の問題は別々の問題として考えてほしい			○				公共施設、道路維持管理
青野	13	青野地区は産廃施設などあり良いイメージがないので声を大きくして反対したい（残土処理場）			○				公共施設、道路維持管理
青野	14	県道の拡張、信号機の問題			○				交通、道路維持管理
青野	15	残土処理場はほかのグループと同じ意見			○				公共施設
青野	16	女性会を脱会する地区がなぜ多いのか考えるべき		○					活性化、協働のまちづくり

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
青野	17	残土処理が決まった場合、残土の検査員はいるのか			○				公共施設、道路維持管理
青野	18	女性会が脱退する原因は業務が多すぎることもある		○					活性化、協働のまちづくり
青野	19	残土処理場については他と同じだが、地元の説明会がなかった、情報が伝わらない			○				公共施設
青野	20	県には処理場の事を交渉している			○				公共施設
青野	21	女性会が減少する中でその在り方を市が主体になって方向性をかえるべきだ		○					活性化、協働のまちづくり
青野	22	女性会は井原全体で11地区あったのに今は6地区しかない半数近く減っておりこの先心配である。減った地区の分まで世話して仕事量が増えている、地元の負担を軽減してほしい		○					活性化 協働のまちづくり
青野	23	ぶどう浪漫館へ神戸を通るが、8時～10時頃の交通量が多く、そこに大型ダンプが通るのは危険だ			○				公共施設
青野	24	女性会についていろいろな行事を消防団へ依頼するなどしているが、それでも負担が多い、やり方がまずいのか活動が鈍い		○					活性化 協働のまちづくり
青野	25	女性会も頼られて仕事量が増加しすぎていて、地域の活性化に逆行している、活性にはボランティアが必要		○					活性化 協働のまちづくり
青野	26	全体意見として残土処理場問題は地元説明会、情報が全くと言っていいほどない			○				公共施設
青野	27	ワークショップ形式はなじまないのやり方を考えてほしい						○	市政報告

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第1班 班長 大滝文則

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月20日（火） 19時00分～21時00分
開催場所	西江原地区 「西江原公民館」
出席議員	大滝文則、妹尾文彦、細羽敏彦、惣台己吉、上野安是
参加者数	54名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **西江原** 地区

テーマ『 **豪雨災害後1年を経過した現状等について** 』

開催日： 令和元年8月20日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	1	市への意見を提出しているが回答がない。(1回はあった。)	○						災害対応
西江原	2	前回からの経過報告が知りたい。	○						災害対応
西江原	3	486号線を早く復旧してほしい。			○				災害復旧
西江原	4	雄神川出口対岸の竹藪を撤去し、出来るだけ小田川の流れをなめらかにしてほしい。竹藪があるため、現在流れは直角に近く危険度は大きいと思う。			○				防災対策
西江原	5	東町から西町のほうまで水が出ているという情報を早く伝えてほしかった。	○						災害情報
西江原	6	消防団はいつは避難するのか。自分が危険。身の安全が不安。	○						消防団
西江原	7	消防機庫待機も危ない。	○						消防団
西江原	8	県との連絡が悪い。			○				災害復旧
西江原	9	寺戸、土砂崩れの危険が指摘されても各家庭が対応すべき具体策がわからない。防災マップが作りっぱなしで生かされない。	○						防災対策
西江原	10	自主避難に対する市の関与項目、内容。	○						防災対策
西江原	11	雄神川の長谷橋下流に土砂がたまり、土砂の上に雑草が生い茂っている。自治会員による年2回の溝掃除では対応できない。何かいい知恵はないか。			○				河川改修
西江原	12	市道長谷今市線沿いの山崩れが昨年発生。今後の発生が心配。			○				山崩れ
西江原	13	市道戸倉亀迫線の法泉寺上の3か所の法面崩壊したが、ビニールシートをしているだけで放置されている。			○				災害復旧
西江原	14	決壊実績の箇所にはライブカメラを付け井原放送でポイント指定で見れるとよい。	○						防災対策
西江原	15	夜間にレベル5になることが予想されるときは夕方までに井原放送で流してほしい。	○						防災対策
西江原	16	情報の収集、情報の発信元、確実な情報提供。	○						災害情報

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	17	亀迫公園の避難場所になってるけど灯りがないので考えてほしい。家の前になるけど無理。	○		○				防災対策
西江原	18	災害時の情報の流し方の徹底	○						災害情報
西江原	19	日頃から近所の人と連絡し合うこと。	○						市民意識
西江原	20	各地区で避難訓練の実施	○						防災対策
西江原	21	避難場所がよくわからない。	○						防災対策
西江原	22	発電機	○						防災対策
西江原	23	隣近所で声掛けをし、安否の確認をするのが1番である。	○						災害対応
西江原	24	防災訓練の取り組み	○						防災対策
西江原	25	土砂災害の危険性の住民の再認識	○						防災対策・市民意識
西江原	26	復旧が遅い。			○				災害復旧
西江原	27	水門を閉じた後の排水ポンプがない所がある。			○				防災対策
西江原	28	救命ボートを昨年浸水したところに配置してほしい。	○						防災対策
西江原	29	救命ボートが欲しい。	○						防災対策
西江原	30	情報の整理と指示系統の確認と訓練	○						災害情報
西江原	31	消防団が常にいるわけではない。2018年の豪雨災害は夜だった。昼間有事があった際、誰が対応するのか。県外に出ている人も多数いる。不在時の有事を考えた消防団のあり方を考える必要あり。	○						消防団
西江原	32	有事の際の出動できる消防団の不足	○						消防団
西江原	33	市外に住む消防団員の増加による有事の際、出動が難しい。	○						消防団
西江原	34	消防団員を確保するための策	○						消防団
西江原	35	消防団員の確保	○						消防団
西江原	36	分団単位で団員への一斉メール	○						消防団

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	37	早期復旧を要望			○				災害復旧
西江原	38	私有地の復旧工事→ほったらかし。何とかならないのか。			○				災害復旧
西江原	39	河川内の雑木を伐採する。土砂もすくい上げる			○				河川改修
西江原	40	河川の改修			○				河川改修
西江原	41	賀山地区、工事に対し回路の問題、工期短縮できないか。			○				災害復旧
西江原	42	避難所への道路が水没して通行困難に	○						避難経路
西江原	43	避難所がわかりにくいので周知徹底をはかりたい。	○						避難所
西江原	44	各対策の明確化。予防、情報、避難場所、訓練、処理、汚染の改修	○						防災対策・災害情報
西江原	45	避難する基準の明瞭さと共有	○						防災対策
西江原	46	市、災害担当の方の現地見分、意見収集	○						災害対応
西江原	47	ルート(道路)の不安	○		○				避難経路
西江原	48	動ける人数が少ない。	○						災害対応
西江原	49	連絡→時間がかかる(高齢者)。	○						要支援者
西江原	50	甲南地区、前の台風時、川の縁の土砂をとってもらいたい。			○				河川改修
西江原	51	雄神川(西町)は早く直してもらえた。			○				河川改修
西江原	52	避難所がどこにあるのかはっきりしない。	○						防災対策
西江原	53	避難場所が遠すぎるので、各地区での避難場所を細かく決めておく。	○						避難所
西江原	54	避難時の助け合い。	○						避難所
西江原	55	小学校への避難は正しいのか。	○						避難所
西江原	56	夏場は暑い。	○						避難所
西江原	57	トイレの問題。	○						避難所

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	58	避難指示、避難勧告、みんなが一斉に小学校へ逃げることはパニックになる。具体的に指示してほしい。	○						防災対策
西江原	59	体の不自由な人への配慮、早めの避難。	○						要支援者
西江原	60	避難手段(高齢者など)をどう助けるのか。	○						要支援者
西江原	61	同じ地域の人をということができない。人との希薄な関係が表れている。防災訓練をすることが必要。	○						防災対策
西江原	62	早めの避難指示が必要。	○						住民意識
西江原	63	西江原町の災害の情報が遅くに知った。地域のことを早く知れる方法を考えていきたい。	○						災害情報
西江原	64	訓練の必要。今までのやり方でなく、真剣な町民全体での訓練。	○						防災対策・住民意識
西江原	65	どなたが中心に動くかを決めておいて、リーダー、	○						防災組織
西江原	66	みんなのこととして災害をとらえていない人が多い。	○						住民意識
西江原	67	みなさんが災害に対して無関心に感じられた。	○						住民意識
西江原	68	防災マップの見直し。	○						防災対策
西江原	69	高齢者の人が避難しているときは近所に知らせてほしい。	○						要支援者
西江原	70	付箋の色が異なるものがあるとよい。						○	市民の声を聴く会運営
西江原	71	地区ごとの防災組織	○						防災組織
西江原	72	避難について一人暮らしの高齢者の支援	○						要支援者
西江原	73	詳しい防災マップをよくわかる大きさに作ってほしい。	○						防災対策
西江原	74	避難経路を示してほしい。昨年、小学校へ避難するのがとても大変でした。	○						避難経路
西江原	75	去年の災害で避難するときに長谷の方面も西1組の方へも逃げ道がなくなってしまふこわさがある。何とか雄神川に端を1本かけてはいただけませんか。			○				避難経路
西江原	76	一人ひとりの避難の仕方を確認する。	○						防災対策

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
西江原	77	避難の必要が出てきた時のお互いの連絡(隣り近所・自治会)	○						防災対策
西江原	78	車で避難した方が荷物をもって行きやすいがPの問題は	○						避難場所
西江原	79	消防団へ新しい人に入ってほしい。	○						消防団
西江原	80	消防団の方が声をかけて下さったことが一番うれしかったのですが、だんだん人数が少なくなっているのが不安です。	○						消防団
西江原	81	避難場所の設備が不十分	○						避難所
西江原	82	避難所への非常食の配備をしてほしい。備蓄。	○						避難所
西江原	83	避難場所の経営	○						避難所
西江原	84	中町の山崩れのあったところを早く直してほしい。			○				山崩れ
西江原	85	雄神川の川の中の水位が高くなるので石をとってほしい。			○				河川改修
西江原	86	雄神川の川の底の砂や石を掘って川の整備はしていただけるのでしょうか。			○				河川改修
西江原	87	雄神川が浅くなった。			○				河川改修
西江原	88	民地の災害復旧が気になる。(公共道路等への影響)			○				災害復旧
西江原	89	一日も早い復旧			○				災害復旧
西江原	90	復旧工事の着手が遅いと思うのですが、必要な個所が多いので仕方がないのでしょうか。			○				災害復旧

様式第1号（第11条関係）

令和元年 8月 28日

井原市議会議長 坊野 公治 殿

第2班 班長 簗戸 利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年 8月 22日（木） 19時00分～21時00分
開催場所	芳井 地区 「 芳井生涯学習センター 」
出席議員	簗戸利昭、三宅文雄、西村慎次郎、宮地俊則、多賀信祥
参加者数	20名
主な意見 要望等	ワークショップで出された意見については、別紙のとおり。
備 考	

第9回 「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **芳井** 地区

テーマ『

災害後1年を経過した現状等について

』

開催日： 令和元年8月22日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
芳井	1	地区の事情に応じて備蓄を考えて対応してほしい(1か所ではなく柔軟に)	○						災害
芳井	2	自主防災組織を積極的に取り組むように市が働きかけてほしい(強く仕向ける)	○						災害
芳井	3	補助金の制限を取り除く(地域によっては2割の地元負担が重い、50万円までは複数回使えるように、消耗品にも使えるよう使いやすくしてほしい)	○						災害
芳井	4	災害発生したら自主避難所にも毛布などを回せるようにしてほしい	○						災害
芳井	5	芳井は広く地形の関係から指定避難所が2か所では足りない(旧小学校区単位にできないか)	○						災害
芳井	6	自主防災組織で決めた自主避難所と市の連携に不安がある	○						災害
芳井	7	砂防ダムからあふれている土砂が撤去できていない			○				災害
芳井	8	河川、道路等の復旧の予定を教えてください			○				災害
芳井	9	福祉避難所の整備と周知が必要。あわせて、指定避難所の中でのスペースなどの配慮を検討すべき	○						災害
芳井	10	宇戸川に住んでいて、避難場所の希望を学校から聞かれたが、実際には避難できない	○						災害
芳井	11	地区公民館の改修、修繕のための補助を拡充してほしい(世帯数が少ない地区は負担が大きい)		○					地域
芳井	12	明治体育館の維持、修繕などの補助をしてほしい	○						地域
芳井	13	川相体育館のトイレの改修をしてほしい	○						地域
芳井	14	議員は現場に足を運んで、しっかりと見て、解決するまで取り組んでほしい	○	○	○		○		議会
芳井	15	今回のことについても以前の形で報告してほしい(会長あて)						○	議会

様式第1号（第11条関係）

令和元年8月28日

井原市議会議長 坊野公治 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	令和元年8月8日（木） 19時00分～20時45分
開催場所	美星 地区 「 美星公民館 」
出席議員	西田久志 佐藤 豊 坊野公治 荒木謙二 柳原英子 大滝文則 山下憲雄 多賀信祥 妹尾文彦
参加者数	55名
主な意見 要望等	意見交換会で出された意見については、別紙のとおり。
備考	

第9回「市民の声を聴く会」意見交換会実施報告書

地区名： **美星** 地区

テーマ『 **美星を元気に！資源を活用したまちづくりに向けて** 』

開催日： 令和元年8月8日

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
		【班のテーマ】							
		中世夢が原・星の郷青空市・美星天文台・神楽殿							観光
		【活用方法(計画)】							
美星	1	・夢が原を活用し、イベント等で集客を図る。貸出方法(コスプレ等)			○				
美星	2	・宿泊施設(民泊の組織化)			○				
美星	3	・子供の遊び場(施設)の新設			○				
美星	4	・アクセスの利便性を活用する。			○				
美星	5	・青空市から夢が原・天文台への動線の充実			○				
		【得られる効果】							
美星	6	・町外からの誘客・交流人口の増加			○				
		【班のテーマ】							
		中世夢が原							観光
		【活用方法(計画)】							
		・コンサート広場・キャンプ場・(オートキャンプ含)・天文台・グランドゴルフ場							
		【得られる効果】							
美星	7	・観光客の増加			○				
美星	8	・長期滞在客の確保			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
美星	9	・マネージメントのできるコンサルタント会社を利用(お金をかける)			○				
美星	10	・新たな土産物の開発			○				
美星	11	・コメント以外の宿泊施設の新設			○				
美星	12	・井原市民全員をPR隊とする(市民の活用)			○				
		【班のテーマ】							
		中世夢が原・星の郷青空市の活性化・充実							観光
		【活用方法(計画)】							
美星	13	・わかりやすい道路の整備(迷路化している)看板等			○				
美星	14	・観光案内所の充実			○				
美星	15	・ブランド品の開発			○				
美星	16	・マルシェ等定期開催をする(朝市等)			○				
		【得られる効果】							
美星	17	・リピーターの増加			○				
美星	18	・町内にお金が落ちる			○				
		【班のテーマ】							
		猪							有害鳥獣
		【活用方法(計画)】							
美星	19	・捕獲(猟師の増員・補助金の増加)			○				
美星	20	・肉をペットフード等に活用			○				

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
美星	21	・夏場の猪肉もおいしい			○				
		【得られる効果】							
美星	22	・農作物の被害が減る			○				
美星	23	・就農者の増加			○				
美星	24	・観光客の増加			○				
美星	25	・収入の増収			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							
美星	26	・猟友会内の駆除班とのからみ(組織の改正が必要)			○				
美星	27	・誰でも捕獲できるようにする			○				
美星	28	・加工場の新設・販路(青空市の活用)			○				
美星	29	【組織体制・実施主体】			○				
美星	30	株式会社・農事組合・NPO等住民主体			○				
		【班のテーマ】							
		山・星・涼しい夏							観光
		【活用方法(計画)】							
美星	31	・キャンプ・自然体験・子どもの遊び場・星空の観賞できる魅力的な場所の整備・発信			○				
美星	32	・山・川・道の整備			○				
		【得られる効果】							
美星	33	・美星の魅力を体験して知ってもらう			○				
美星	34	・住みたい・来たい人の増加			○				

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
美星	35	・住んでいる人にとっても魅力的			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							
美星	36	・整備するための地域住民の理解			○				
美星	37	・PR方法(パンフレット作成等)			○				
美星	38	・宣伝マネージメント			○				
		【班のテーマ】							
		猪							有害鳥獣
美星	39	【活用方法(計画)】			○				
美星	40	・捕獲肉をカレー・バーガー・給食等に利用			○				
美星	41	・森・山で猪肉の食べれるレストラン等の新設			○				
		【得られる効果】							
美星	42	・農作物の被害が減る			○				
美星	43	・町の特産物になる			○				
美星	44	・観光客の増加が図れる			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							
美星	45	解体施設(屠場)の新設(保管場所・流通ルート確保・品質管理・人材育成)			○				
		【班のテーマ】							
		中世夢が原の活用							観光
		【活用方法(計画)】							
美星	46	・修学旅行の誘致	○		○				

地区	番号	出された意見	振分先委員会						テーマの小分類
			総文	市福	建水	予決	議運	広聴	
美星	47	・映画・ドラマの誘致			○				
美星	48	・体験学習			○				
		【得られる効果】							
美星	49	・観光客の増加			○				
美星	50	・交流人口の増加・流れ			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							
美星	51	・宿泊施設の確保(民泊等)			○				
		【班のテーマ】							
		農業を活かした経済活動(生産と観光)							農業
		【活用方法(計画)】							
美星	52	・観光農園			○				
美星	53	・青空市の集客の増加を図る			○				
美星	54	・美星ブランドの確立			○				
		【得られる効果】							
美星	55	・交流人口の増加・経済の活性化			○				
		【実施する上での課題・必要とする支援】							
美星	56	・畑地灌漑事業の継続			○				
美星	57	・後継者			○				
美星	58	・有害鳥獣対策			○				